

第2節 家での勉強の様子

1. 家でどのくらい勉強しているか

【「ほとんど毎日(6~7日)」が28%、「週に半分以上(4~5日)」が24%であり、両者をあわせるとおよそ半数が週に4日ないし5日以上学習する習慣をもっている。他方、「家ではほとんど勉強しない」と答えた生徒も2割弱に達する。成績の違いが勉強日数に反映している。成績が上がるほど勉強日数が多くなる。】(図1-3)

Q3

家での勉強についてうかがいます。
(学習塾や予備校、家庭教師との学習は除きます)

A. あなたはふだん、家でどのくらい勉強をしますか。あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

今回の調査では、家での学習の習慣を、①週に何日くらい勉強をするか、②学習の時間、③テスト前の勉強の開始時期という3つの側面からとらえた。

まず、週に何日くらい勉強するかである。全体としてみると、「ほとんど毎日(6~7日)」が28%、「週に半分以上(4~5日)」が24%であり、両者をあわせるとおよそ半数が週に4日ないし5日以上学習する習慣をもっていることになる。他方、「家ではほとんど勉強しない」と答えた生徒も17%と2割弱に達している。

成績の自己評価別にみると、成績が上がるほど勉強日数が多くなる。平均日数でも、成績上位「4~5日」、中位「3~4日」、下位「2~3日」とそれぞれ1日程度の差がみられる。家での学習頻度は成績上位者ほど大きい。

高校の進学状況別にみると、進学状況で大きな差がみられ、進学者が多い高校ほど勉強日数が増加している。超進学校と進学校との差はあまりみられないが、準進学校、就職進学校とは差が大きい。

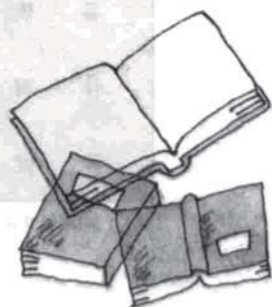
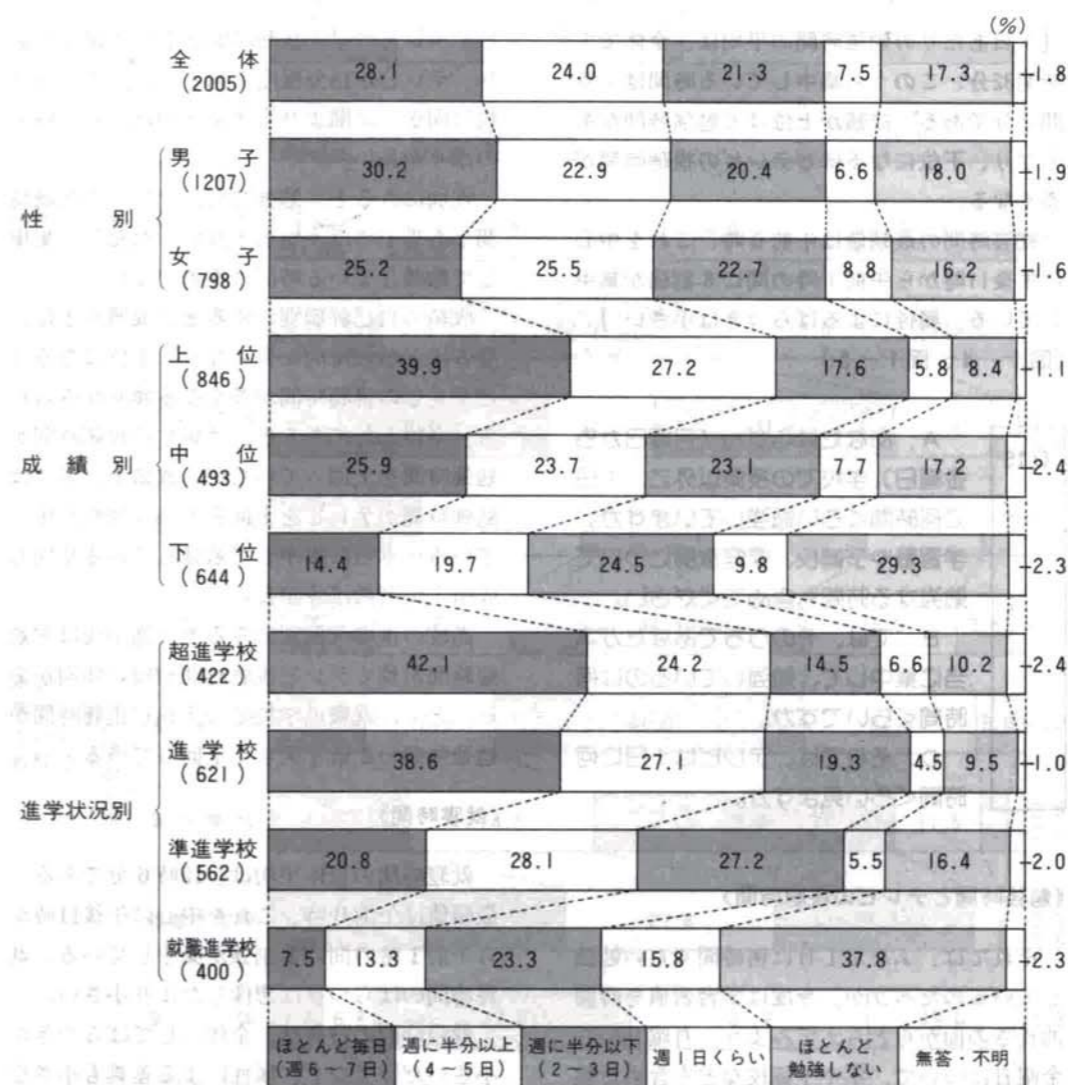


図1-3 家でどのくらい勉強しているか



注) ()内はサンプル数。

2. 勉強時間、テレビ視聴時間、就寝時間

【1日あたりの勉強時間の平均は、全体で1時間32分、このうち集中している時間は1時間2分である。成績が上位ほど勉強時間が多くなり、下位になるほどテレビの視聴時間が多くなる。

就寝時間の最頻値は午前0時、これを中心に午後11時から午前1時の間に8割強が集中している。属性によるばらつきは小さい。】
(図1-4、図1-5)

Q16

A. あなたはふだん(月曜日から金曜日)、学校での授業以外に、1日に何時間くらい勉強していますか。学習塾や予備校、家庭教師について勉強する時間も含めてください。

B. では、そのうちあなたが本当に集中して、勉強しているのは何時間くらいですか。

C. それでは、テレビは1日に何時間くらい見ますか。

《勉強時間とテレビの視聴時間》

それでは、ふだん1日に何時間くらい勉強しているのだろうか。今度は学習習慣を時間的長さの面からとらえてみよう。月曜日から金曜日について、塾や予備校などを含めた勉強時間を尋ねた。なお、あわせて、勉強している時間のうち「本当に集中している時間」も尋ねた。

全体としてみると、勉強時間の平均(概算)は1時間32分、このうち集中している時間は1時間2分である。つまり机に向かっている時間のうち、だいたい3分の2程度が集中して勉強している時間だということになる。

これをテレビの1日あたり視聴時間と比較してみると、勉強時間の平均1時間32分に対

してテレビの平均視聴時間は1時間46分であり、テレビが15分程度上回る。勉強のために机に向かう時間よりもテレビの前にいる時間のほうが長い。

性別にみると、勉強時間、テレビの視聴時間も男子のほうが若干長い。ただし、集中して勉強している時間は性差がない。

成績の自己評価別にみると、成績が上位になるほど勉強時間が多くなり、下位になるほどテレビの視聴時間が多くなる傾向がみられる。全体としてみると、テレビの視聴時間が勉強時間を上回っていたが、成績上位者では勉強時間がテレビを上回るという逆転が生じている。本当に集中して勉強している時間も成績上位者のほうが長い。

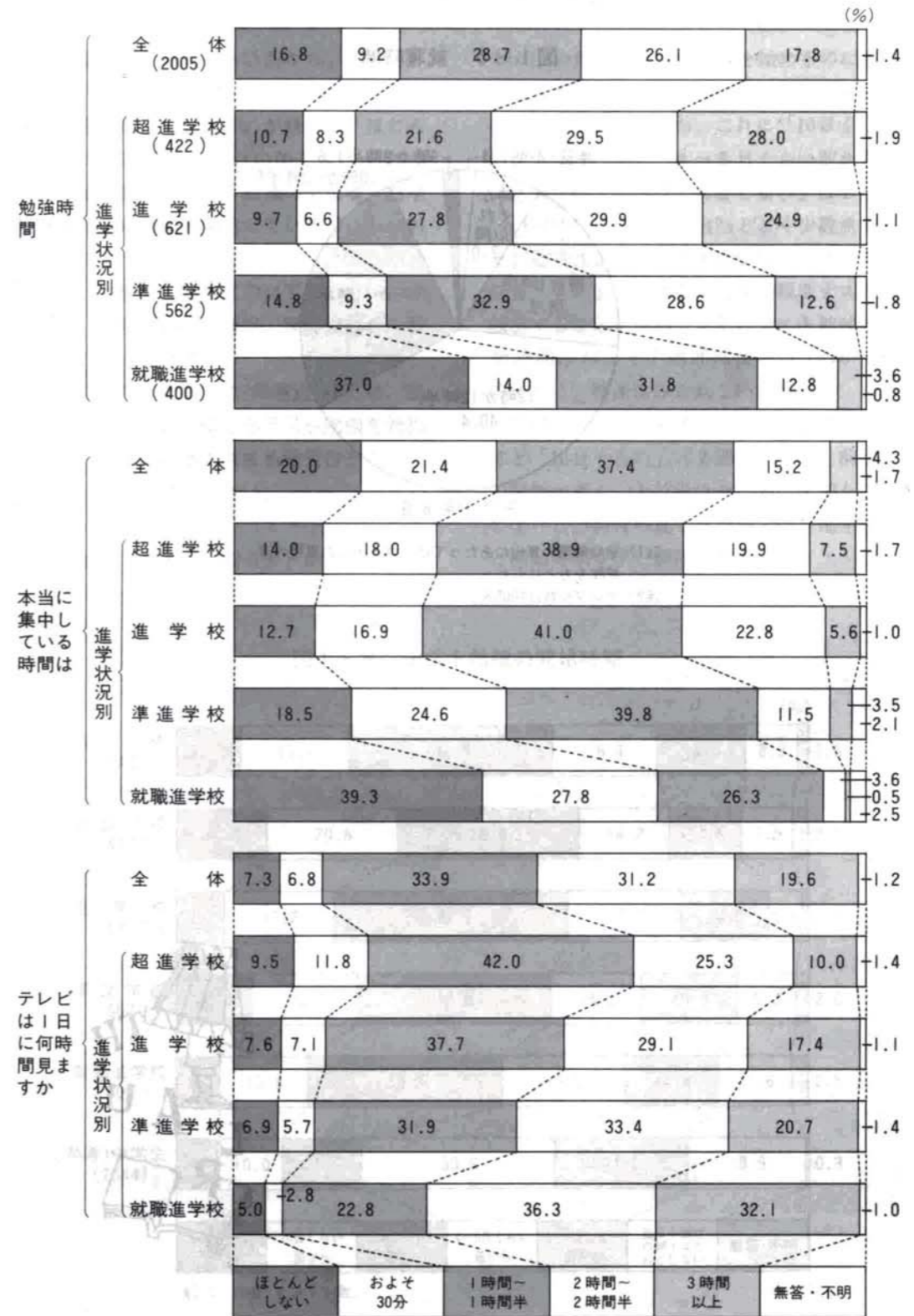
高校の進学状況別にみると、進学校ほど勉強時間が長くテレビ視聴時間が短い傾向がある。とくに就職進学校ではテレビ視聴時間が勉強時間の2倍を大きく上回っている。

《就寝時間》

就寝時間の全体平均は、12時6分である。最頻値は午前0時、これを中心に午後11時から午前1時の間に8割強が集中している。就寝時間のばらつきは想像したより小さい。

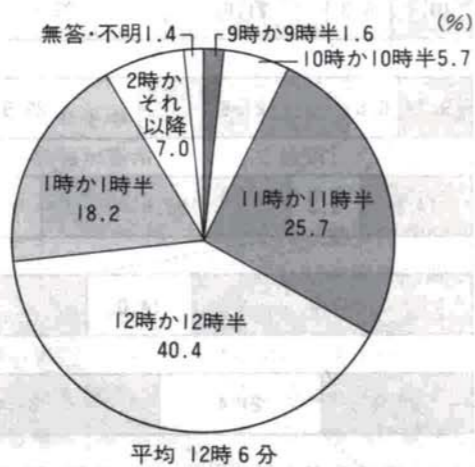
就寝時間の特徴は、全体としてばらつきが小さいだけでなく、属性による差異も小さなことである。勉強時間で属性による差が大きかったことと対照的な結果である。これからみる限り、勉強時間が長いほど就寝時間がそれだけ短くなるという傾向は見いだせない。性別にみると、男子のほうが若干就寝時間が遅く、成績の自己評価別では、成績上位者と下位者でやや遅い。高校の進学状況別では、進学者の多い高校ほど就寝時間が遅くなっている。

図1-4 勉強時間、テレビ視聴時間



注) () 内はサンプル数。

図1-5 就寝時間



注1) 平均時間の算出にあたってはリコード前の原票の選択肢をもとにした。
注2) サンプル数は2005人。



3. テスト勉強の開始時期

【最頻値は「1週間くらい前から」で32%、これに「10日くらい前から」(17%)、「4～5日くらい前から」(16%)が続く。「ほとんどしない」は2%、「当日の朝くらい」は0.4%とごく少数派である。成績の上位者、進学校ほど早めに準備を開始している。】(図1-6)

Q3

家での勉強についてうかがいます。
(学習塾や予備校、家庭教師との学習は除きます)

C. テスト(定期考査)前には、あなたはいつ頃からテスト勉強を始めますか。あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

から、いわゆるテスト勉強を始めるのだろうか。全体としてみると、最頻値は「1週間くらい前から」で32%、これに「10日くらい前から」(17%)、「4～5日くらい前から」(16%)が続く。「ほとんどしない」は2%、「当日の朝くらい」は0.4%とごく少数派である。通常は家での学習習慣がない生徒であっても、テスト前にはなんらかの程度テスト勉強をすることが推測できる。テスト勉強の開始時期はおよそ1週間前後というのが一般的である。性差はみられない。

成績の自己評価別では、成績が上位になるほど「10日くらい」「2週間くらい」前からの開始が多く、上位者ほど早めに準備を開始している。高校の進学状況別では、進学校ほど開始時期が早い傾向がある。

高校生はテスト(定期考査)前にいつごろ

図1-6 テスト勉強の開始時期

	2週間くらい前	10日くらい前	1週間くらい前	4～5日くらい前	2～3日くらい前	前日+当日の朝+ほとんどしない	無答・不明
全体 (2005)	10.2	17.1	32.3	16.4	14.0	8.2	1.8
超進学校 (422)	14.5	20.6	28.8	14.2	11.6	7.9	2.4
進学校 (621)	7.7	17.2	36.9	17.7	14.0	5.5	1.0
準進学校 (562)	11.9	16.5	30.8	14.2	15.3	9.3	2.0
就職進学校 (400)	7.0	13.8	30.8	19.5	14.8	11.6	2.5
(参考)中学生 (2544)	6.7	10.0	12.5	30.6	21.0	18.9	0.3

注) ()内はサンプル数。

4. 家での勉強内容

【第一に学校の宿題(80%)、第二に学校の授業の予習(55%)。家での勉強内容は、学校の勉強が中心であり、かつ復習型よりも予習型である。進学率の低い高校で予習をする者が少なく、進学校で通信教育が多い。】(表1-4)

Q3 家での勉強についてうかがいます。(学習塾や予備校、家庭教師との学習は除きます)
B. 家では主にどんな勉強をしていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

ここまで家庭での学習について、主として量的な側面に注目してきた。次に質的な側面をみることにしよう。まず、家での勉強の内容である。

家でする勉強の種類として半数を超えているのは、第一に学校の宿題(80%)、第二に学校の授業の予習(55%)である。このふたつ以外はいずれも半数を切っている。学校の授業の復習をあげるのは37%、3分の1強であり、この数値を「予習」と比較すると、復習ではなく予習中心という高校生の家庭学習の特徴が浮かび上がってくる。

表1-4 家での勉強の種類

	全体 (2005)	性別		成績別			進学状況別			
		男子 (1207)	女子 (798)	上位 (846)	中位 (493)	下位 (644)	超進 学校 (422)	進学校 (621)	準進 学校 (562)	就職 進学校 (400)
1. 学校の宿題	80.0	74.7	88.0	85.3	81.5	72.0	73.2	87.8	77.9	77.9
2. 学校の授業の予習	55.1	51.0	61.4	59.7	53.5	49.8	68.5	61.2	56.9	29.1
3. 学校の授業の復習	36.7	40.5	31.0	40.2	36.3	32.2	47.6	39.9	27.2	33.3
4. 塾や予備校の授業の予習	3.1	3.6	2.4	3.7	2.4	2.8	3.6	0.8	6.2	1.8
5. 塾や予備校の授業の復習	1.4	1.7	1.0	1.4	0.8	1.9	1.4	0.6	2.7	1.0
6. 「進研ゼミ」のような通信教育	10.9	11.7	9.8	15.5	9.7	6.2	16.6	8.7	11.7	7.3
7. 「トレーニングペーパー」のような家庭学習教材	3.3	4.1	2.3	4.5	2.8	2.3	3.8	2.1	3.6	4.5
8. 上にあげた以外の受験(就職も含む)のための勉強	8.5	10.6	5.3	11.2	5.9	7.0	9.5	6.8	11.6	5.8

注) ()内はサンプル数。

塾や予備校の授業の予習・復習、通信教育、家庭学習教材をあげる者は、いずれも1割程度以下であり、高校生の学習が学校の授業中心であることを示している。

性別でみると、女子のほうが「宿題」「学校の授業の予習」で男子を上回り、男子は「復習」で女子を上回っている。

成績の自己評価別では、いずれも成績上位者のほうが数値が高い。とくに「宿題」について下位と中・上位の間で約10%の差がある。

高校の進学状況別では、特徴的な傾向とし

て、超進学校で「学校の宿題をする(73%)」の比率がもっとも低く、就職進学校で「予習をする(29%)」の比率が非常に低いという傾向がみられる。通信教育は、進学校ほど多く利用している(就職進学校7%→超進学校17%)。

勉強内容に関しては、地域差がみられた。学校の宿題、復習に関しては九州の数値が非常に高く(95%)、予習と通信教育に関しては中四国で数値が高い。

5. 家での勉強の様子

【7割の生徒が「自主的に勉強」し、「出された宿題」をきちんとやっていると答えている。ただし、「机に向かったらすぐに勉強にとりかかる」のは4割、「授業で習ったことを自分でもっと詳しく調べる」は2割、「授業で習ったことはその日のうちに復習する」は2割と少数派である。「ラジオやテレビをつけっ放して勉強する」いわゆる「ながら勉強」は46%。】(図1-7)

Q3 家での勉強についてうかがいます。(学習塾や予備校、家庭教師との学習は除きます)
F. 家での勉強のようすについてうかがいます。①から⑧のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

家での勉強の様子について質問した。生徒の約70%が「家族に言われなくても自分から進んで勉強する」「出された宿題をきちんとやっていく」と答えている。しかし同時に、「机に向かったらすぐに勉強にとりかかる」のは4割、「計画をたてて勉強する」のは36%、「授業で習ったことを自分でもっと詳しく調べる」は2割、「授業で習ったことはそ

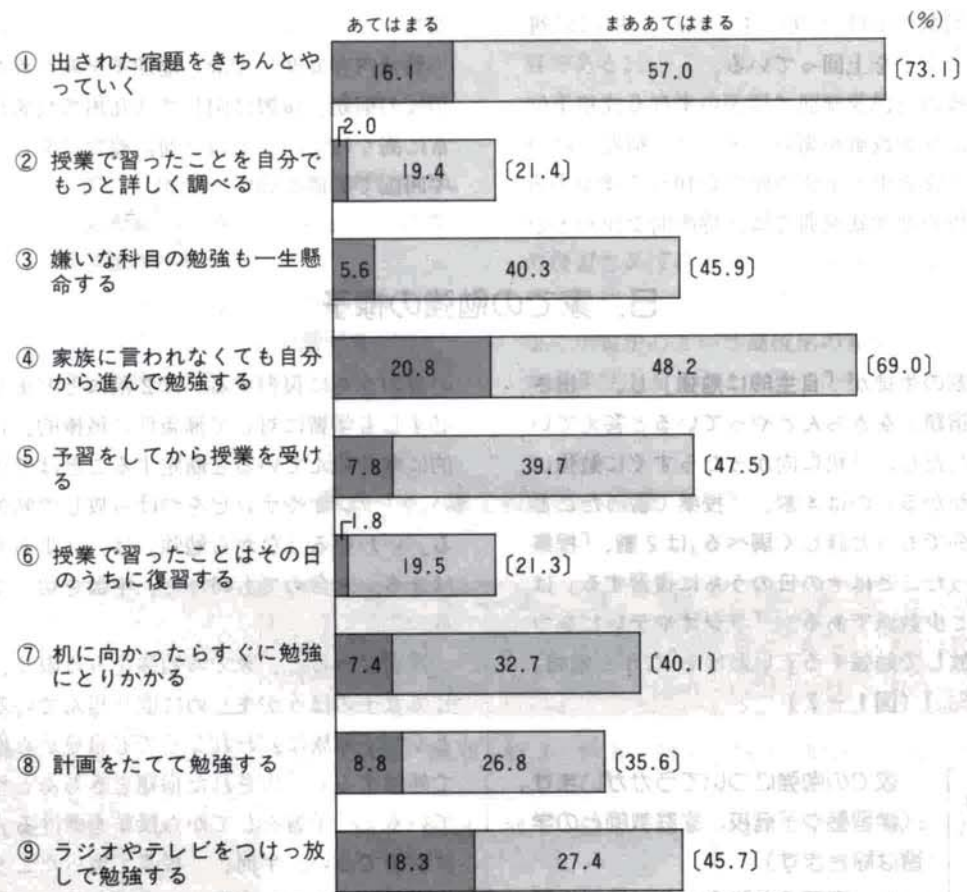
その日のうちに復習する」は2割にとどまり、必ずしも学習に対して無条件に積極的、自主的に取り組んでいると断定することはできない。「ラジオやテレビをつけっ放して勉強する」いわゆる「ながら勉強」は、「まああてはまる」を含めても46%と、半数を切っている。

性別にみると、家での勉強をみる限り、概して女子のほうがまじめに取り組んでいる。とくに「家族に言われなくても自分から進んで勉強する」「出された宿題をきちんとやっていく」「予習をしてから授業を受ける」のは女子が多い。半面、「授業で習ったことを自分でもっと詳しく調べる」のは男子に有意に多く(男子27%、女子13%)、内発的な動機に裏づけられた学習は、男子に多いことが推測できる。

成績の自己評価別では、「ラジオやテレビをつけっ放して勉強する」項目をのぞき、成績が上がるほど高い数値を示している。とりわけ「自主的に勉強する」については、成績により顕著な差がみられる。

高校の進学状況別にみると「予習をしてから授業を受ける」者は、進学校ほど高くなっている(1%→12%)。

図1-7 家での勉強内容



注1) []内の数値は「あてはまる」と「まああてはまる」の合計。

注2) サンプル数は2005人。